



高口やすひこ通信

〈発行〉
公明党
立川第5支部
第4号

地域住民の「アンケート」結果をもとに――

防犯対策の強化を市長に申し入れ

高口やすひこ公明党立川総支部青年部長は4月6日、党第5支部が3月に実施した「防犯対策に関するアンケート」の結果をもとに、青木久・立川市長に対し、防犯対策の強化を求める申し入れをおこないました。

席上、高口氏は、警察のパトロール強化を市から強く要請を 児童・生徒の安全を守るため、小・中学校の「有人警備」を実施し、「スクールガード」を早期に導入を 夜間に住民が安心できるよう、街灯の増設を 犯罪発生情報を市民に知らせるために、「防災無線」の活用を 犯罪情報・防犯情報などを市から携帯メールに送信するシステムの導入を と強く要望しました。



青木市長(中央)に防犯対策の強化を申し入れる高口氏(右から2人目)ら

市側が「情報提供システム導入など進める」と回答

これに対し、青木市長は「市民の安全・安心は大事であり、できるだけことはしていく」と回答。また携帯メールへの情報提供システム等について、担当部長から「導入する方向で進めていきたい」という回答がありました。

「防犯対策に関するアンケート」の結果

調査期間:3月6日～26日 調査方法:個別面接(自書) 回収数:701 調査地域=柏町、幸町、砂川町、上砂町、泉町

